



はじめに



上級レベルの学習者を対象に日常的によく使う表現を、どうしたら効率的に学べるかを考えて作りました。ここで言う、よく使う表現とは、耳にしたり、目にしたりするだけではなく、自分でも使えるものです。「猿も木から落ちる」ということわざは、確かに日本人の理解表現ではありますが、日常的に頻繁に使う表現とは言えないでしょう。その理由の一つとして、「猿も木から落ちそうだ」「猿だって木から落ちない」のように生産的な表現ではないからだと考えられます。「猿が」「猿も」「猿だって」とか、「落ちた」「落ちている」というように、状況によっては活用させたい場合もあるでしょうが、そうした表現は認められません。つまり、表現として固定しているのです。この本では固定した表現ではなく、活用も自由に変化させられるような、緩やかな語彙と語彙の結びつきの表現をコレクションとして集めました。

コレクションという考え方は、2つ以上の言葉の結びつきやすい表現と考えて下さい。『統語論的にも、意味論的にも、(中略)ある言語に繰り返しよく現れる結合関係』(『現代英文法辞典』三省堂 1992)です。この本には初級・中級で学ぶ動詞、形容詞、名詞を使った表現が集めています。例えば、名詞「頭」、動詞「回る」は、ともに中級までに学ぶ語句ですが、「頭」と「回る」が結合すると、どのような意味になるでしょうか。

(例) 忙しくて、頭が回らない。

「筋肉痛で首を回転できない」という身体動作と解釈した学習者もいます。身体の感覚としては理解しているかもしれません。しかし、「頭」に「思考力」という意味や、「回る」に「よく働く」という意味があることを知っていれば、「考える余裕がない」という推測もでき、こうした日本語の表現理解が進むでしょう。

また、言語使用者の観点から言えば、自動詞「回る」に対して、他動詞の「回す」や、類義語「回転する」とも使えるかと思うこともあるでしょうが、「頭」とは共起しません。

この本は、結びつきやすい表現を見ながら、基本語彙での運用ができるることを目指してデザインしています。

ほんきの日本語というのは、みなさんに「本気」で勉強して欲しいという気持ちと、ことばのものとの意味の「本義」をかけています。「本義」は、この本の提案ですが、「頭」の基本義として、次のように書きました。(例文は、基本義Cになります)

- 基本義 A 人や動物の首から上の部分
- 基本義 B 頭髪
- 基本義 C 思考力、頭脳、脳の働き、考え
- 基本義 D ものごとの始め
- 基本義 E 大型の動物を数える単位

一つの語彙を意味的に分類したものが基本義です。辞書ほどに細かく説明することなく、具体的にわかりやすく説明しているのが特徴です。基本的な語彙を、もう一度基本義の点から見直してみましょう。今まで別々に覚えていた表現が、結びついで見えるようになるでしょう。一つの基本的な意味から、拡張していき、様々な意味を持つようになります。「頭」を例に説明しますと、基本義Aが基本的意味ですが、「頭」の部分で上位の目立つ部分が基本義Bの頭髪です。また、基本義Aが形態的なのに対して、機能的な側面が基本義Cで、「頭を使うこと」は「考える」ことという意味になります。では、「頭」がどこにあるかと言えば、人間の体の一番上にあることから、基本義Dの解釈が出てきます。基本義Eは英語からの翻訳ですが、頭が抱きかかえられないほど大きい動物を数える時に使うもので、頭を意識した物の見方です。

漢字が異なっても、語源が同じものは同じ項目にしてあります。日本語でコミュニケーションをする際に、発音が同じでも意味が異なる同音異義語と、発音は同じでも、文字表記が異なる同音異字語はどちらが優先されるでしょうか。「いい」という言葉を聞いた時に、「良い」「善い」「佳い」「好い」といった漢字を区別するより、「これはいい絵だ」と「お腹がいっぱいだから、もういいよ」のように「いい」という意味的区別が優先されるのではないでしょうか。そこで、語源が同じもので、基本義で結びつくものは漢字が異なっても同じ項目にしてあります。現代の日本語では漢字が異なっても、「聞く」と言う言葉は「聞く」「聴く」と「効く」「利く」の語源は同じ（『広辞苑』第6版）なのです。

内容は、〔頭〕〔体〕〔手〕〔vol.1〕／〔足〕〔口〕〔目〕〔vol.2〕というグループに分けて、名詞、動詞、形容詞の三つの品詞をランダムに並べてあります。一つの品詞ばかり勉強しなくてもいいように配置しています。また、「頭が回らない」のような言葉は、〔頭〕のグループの「頭」で登場しますが、〔足〕のグループ「回る」〔vol.2〕でも登場するようになっていて、繰り返すことで覚えやすくしています。語彙習得にどの順序で学んだらいいという規則はありませんので、目次を見て、好きなところから始めて下さい。

〔頭〕頭、良い、聞／聴／効／利く、厳しい、知る、激しい、耳、分かる、悪い

〔体〕暑／熱い、暖／温かい、重い、顔、軽い、腰、寒い、済／澄む、乗／載る、腹、身

〔手〕入れる、書／描／描く、返す、硬／固／堅い、切／斬る、指／刺／差／挿／注す、閉／締まる(める)、手、取／撮／採る、引く、持つ

〔頭〕には思考や知覚などの認知的な活動の語彙を、〔体〕には身体部位、身体動作、感覚に関わる語彙を、〔手〕には手を使って動作する語彙をまとめました。

vol.2では、次の項目が学べます。

〔足〕足、行く、来る、蹴る、たつ、近い、つく、出る、遠い、まわる、寄る

〔口〕甘い、売る、買う、口、吸う

〔目〕赤い 明るい ある、いる、汚い、きれい、探す、白い、長い、ない、日、丸い、見る、向く、目、もの

〔足〕には移動など足を使う語彙を、〔口〕には食べる行為や話す行為に関する語彙を、〔目〕には視覚でとらえられる語彙をまとめました。

H感とテクノロジーを使って下さい。漢字のイラストはレバノン人の美術研究者Antoine ABI AAD 氏の発想です。彼のイラストは非漢字圏出身の彼が、学習経験を活かし漢字を実在物にイメージしてデザイン化したものです。また、本書にはCD-ROMがついています。読み方がわからないときに音声を聞くこともできます。インターネットにつながっていれば、インターネット上でどのような使い方がされているかがわかります。洗練されたプログラムは、中澤由莉さん、石井大輔君が作ってくれました。また、心地良い声は渡邊千佳子さんに録音してもらいました。目で見て、耳で聞き、イメージを膨らませる教材となっています。青山美佳さん、蔡萼蔵さん、長嶺智恵子さん、徐銀希さんには、頭と目と手でこの教材を確認してもらいました。この本ができるまでには、くろしお出版の市川麻里子さんは、大変お世話になりました。辛抱強くつきあって下さったことで、この本ができたのだと思います。

この本で学んだ日本語がに、日常の会話や、テレビ、新聞、小説などで何度も出会うはずです。日本語の世界を楽しんで下さい。

本書の構成

この
本の
使い方

目標 target

- 1) x-xi ページの、目標を見て下さい。二つの例文を見て、どんな言葉が共通して入るか、考えてみましょう。イラストもヒントになります。
- 2) 目標で面白いと思ったページから始めて下さい。

こんな意味があります

問題文の太字がどの基本義に該当するか、考えて下さい。また、基本義どうしのつながりを、意味の拡張の点から考えて下さい。

練習 1

空欄に適切な言葉を入れて意味を確認してください。動詞と形容詞は活用させて下さい。また、動詞は自動詞だけではなく、他動詞も入ることがあります。助詞を入れる問題もあります。20題、問題がならんでいますので、順番通り読んでいくことをお勧めします。

練習 2 3

選択問題になっています。練習 1 で勉強した表現がもう一度出ていることもありますので、ここで確認してください。

練習 4

今までに学んだ表現が長い文で書いてあります。新聞や小説の文体にも慣れて下さい。

STEP 調べてみましょう

さらに日本語の世界を深めるための課題になっています。自分で知っている言葉を思い浮かべたり調べたりしてください。

CD-Rの使い方

CD-ROMを使えば、

- 1) 教科書の練習1から練習3までの正解【答】がわかります。
- 2) 練習1から練習4の問題文の読み方も、音声【voice】を聞いて自分で確認できます。
- 3) PCがインターネットに繋がっている場合には、今現在どのように使われているか、検索結果【実例検索】が表示されます。インターネット上には規範的な使い方だけではなく、個性的な表現も多々あります。使用頻度を見ながら、自分の言いたい表現を見つけてみましょう。

I 練習する

▶ Windowsの方

CDを入れると、自動的に立ち上がります。

▶ Macintoshの方

CDのアイコンを開いて、index.htmlをクリックして下さい。

■動作条件■

PCにアプリケーション Quicktime(Apple社)が入っていないと、音声を聞くことはできません。Quicktimeは無料でダウンロードできます。

(→日本語のダウンロードサイト <<http://www.apple.com/jp/quicktime/download/>>)

目次ページ

勉強したい項目の絵にカーソルを合わせて、クリックして下さい。

目次

問題を選択して、クリックしてください。

1. 頭	9. 悪	17. 腹	25. 計指
2. 良	10. 熱	18. 腹	26. 閉
3. 重	11. 重	19. 身	27. 重

アイコン説明



正解がわかります。



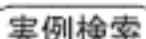
目次に戻ります。



音声を聞くことができます。



前のページに戻ります。



Google検索の結果が表示されます。
PCがインターネットに接続されているときにのみ有効です。



次のページに進むことができます。
(▷練習2 ▷練習3 ▷練習4)

■注意■

ブラウザによっては、初めに音声を聞くときにお待ちいただくことがあります。

目標 target

1 ► p.1

-  1. [] が痛い。
2. [] から読んで下さい。

2 ► p.5

-  1. 気分が []。
2. ちょうど []。

3 ► p.9

-  1. 音楽を []。
2. 行き方を []。

4 ► p.13

-  1. [] 先生。
2. [] 気候。

5 ► p.17

-  1. テレビで事件を []。
2. 彼女と [] 合った。

6 ► p.21

-  1. [] 争い。
2. [] 雷雨。

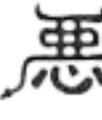
7 ► p.25

-  1. うさぎの []。
2. [] が痛い話。

8 ► p.29

-  1. おみやげを []。
2. 国ごとに []。

9 ► p.33

-  1. 調子が []。
2. 人間関係が []。

10 ► p.37

-  1. [] お茶。
2. [] くなりやすい。

11 ► p.41

-  1. [] 荷物。
2. 気分が []。

12 ► p.45

-  1. [] 色がいい。
2. [] 合わせ。

13 ► p.49

-  1. 身のこなしが []。
2. [] ウォーミングアップ。

14 ► p.53

-  1. [] が曲がる。
2. [] が低い人。

15 ► p.57

-  1. [] 季節。
2. 背筋が [] なる。

16 ► p.61

-  1. 気が []。
2. 宿題が []。

17

▶ p.65



1. 電車に〔 〕る。
2. 相談に〔 〕る。

18

▶ p.69



1. [] をさする。
2. [] が立つ。

19

▶ p.73



1. [] を守る。
2. [] の振り方。

20

▶ p.77



1. 冷蔵庫に〔 〕。
2. 子供をいい大学に〔 〕。

21

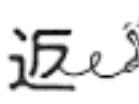
▶ p.81



1. カタカナで〔 〕。
2. 履歴書を〔 〕。

22

▶ p.85



1. 借りを〔 〕。
2. 現金で〔 〕。

23

▶ p.89



1. [] 宝石。
2. 意志が〔 〕。

24

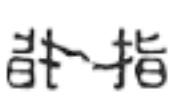
▶ p.93



1. ナイフで〔 〕。
2. 話を〔 〕。

25

▶ p.97



1. 磁石が北を〔 〕。
2. 指で〔 〕。

26

▶ p.101



1. 門が〔 〕。
2. 店を〔 〕。

27

▶ p.105



1. [] でつかむ。
2. [] に入る。

28

▶ p.109



1. 手を〔 〕。
2. 予約を〔 〕。

29

▶ p.113



1. 線を〔 〕。
2. 5から2を〔 〕。

30

▶ p.117



1. 荷物を〔 〕。
2. 関心を〔 〕。

こんな意味があります

頭

- 基本義 A 人や動物の首から上の部分
- 基本義 B 頭髪
- 基本義 C 思考力、頭脳、脳の働き、考え
- 基本義 D ものごとの始め
- 基本義 E 大型の動物を数える単位



基本義のどれに当たるか考えてみましょう。

1. 頭をぶつける。 []
2. 頭を悩ませる。 []
3. 頭に来る。 []
4. 頭から読む。 []
5. 頭が空っぽ。 []
6. 頭を丸める。 []
7. 頭でっかちな人。 []
8. ページの頭。 []
9. 頭上注意。 []
10. 象が十頭いる。 []

練習 ①

1 []に言葉を入れ、意味を確認して下さい。< >には助詞を入れて下さい。

1. [] < >堅い経営者は世界の経済の動きについていけない。
2. 彼女は同期の中でもっとも [] < >切れる人だ。
3. ゴミ拾いを率先する町内の最高齢者には [] < >下がる思ひだ。
4. 彼女は [] < >先から爪先までブランド品で固めている。
5. 暗闇から突然人が現れたときは、[] < >水を浴びせられたようにぞつとした。
6. 彼は情報管理能力で他の同期よりも [] 一つ抜き出している。
7. このボランティア活動を成功させるには、[] 数を集めることが大切だ。
8. [] < >下げて皆に謝った。
9. よく調べずに [] < >犯人と決め付けてはいけない。
10. みんなの [] < >絞って、プランを立てた。
11. 怒っていたら、先生に「[] < >冷やせ」と言われた。
12. 一週間 [] < >ひねってプランを作ったが、計画通りにはならなかった。
13. 失敗したことは忘れて、[] < >切り替えて、新しい実験に取り組もう。
14. [] 隠して、尻隠さず。
15. あんな石 [] と話していても、らちが明かない。
16. 「本日は [] 金だけお支払い下さい。」
17. 起きたてで、まだ [] < >回らない。
18. もう一度この章の [] < >読もう。
19. 上場以来、伸びてきたこの会社もそろそろ [] 打ちの感があるね。
20. あの先生が、[] ごなしに叱っているのを見たことがない。

2 適切な言葉を選び、適切な形にして入れて下さい。

- あんなに頭が〔 〕、有能でバリバリ仕事をする人は見たことがない。
- クラスメートのプロジェクトに対する貢献には頭が〔 〕思いです。
- 古い考えにとらわれて、なかなか頭が〔 〕られない。
- お互の頭を〔 〕て、冷却期間を置こう。
- ああでもない、こうでもないと三日三晩頭を〔 〕解答を見つけた。
- 午前中は二日酔いで頭が〔 〕なかつた。
- 彼女の無責任な態度に今日という今日は頭に〔 〕。

切り替える・冷やす・来る・切れる・働く・回る・下げる

3 適切な言葉を選んで下さい。

- 筆記試験よりも、〔 〕試験の方が緊張する。
- 40歳を過ぎてから、彼は〔 〕を現してきた。
- 〔 〕労働者の占める割合が年々高まっている。
- 我が社は、改革の〔 〕を走っている。
- 映画が終わると、〔 〕を押さえて立ち上がる人がたくさんいた。
- いまは英文学の研究に〔 〕している。
- 教室を出たら、〔 〕に先生とぶつかってしまった。

没頭・先頭・頭角・頭脳・口頭・目頭・出会い頭

4

読んで内容を確認しましょう。

1. 彼は誰にでも気さくに声をかけ、後輩の面倒もよくみていた。頭が切れるのはもちろん、誰にでも気配りができる最高の先輩だったと皆が絶賛する。
2. 今回の展覧会では、18世紀初頭から20世紀初頭までの作品約110点を展示している。
3. 今年3月ごろ、1千羽近くのカワウが突然繁殖地の沼から、姿を消した。なぜ、いなくなったのか。専門家も頭をひねるばかりだ。
4. 6日午後4時55分ごろ、4丁目の点滅信号交差点で、無職東山豊さん(67)の軽トラックと、養護学校職員高見智子さん(29)の乗用車が出会い頭に衝突。東山さんは頭などを強く打ち重体、高見さんは左手に擦り傷などを負った。
5. ナショナルチームは、エース投手のリタイアで大きな打撃を受けた。今期の勝ち頭だっただけに、「きついなんてもんじゃない。ただでさえ頭数が足りないんだ。今いる戦力でやっていくしかない」と投手コーチ。
6. 登録ユーザー数も1,300万を超え、そろそろ頭打ちではとも考えられるが「まだまだ伸ばしていく」と社長は言っている。
7. 日本を発つ前はサーフィンのことしか頭になかったが、現地に来てみると、この島にはサーフィンより惹かれるものがたくさんあるのだ。

STEP

調べてみましょう

「頭」は、「首」「顔」を使った表現とどんな違いがあるか、比べてみましょう。

こんな意味があります

良

- 基本義 A 水準より高い
- 基本義 B 正しい・汚れがない
- 基本義 C 快い
- 基本義 D 適している
- 基本義 E 程度が大きい、十分ある、完了した
- 基本義 F 気持の程度を逆説的に強める言い方



基本義のどれに当たるか考えてみましょう。

1. 頭が良い。 []
2. ここは、いい風が吹く。 []
3. この解答でいいのかな。 []
4. 子供にいいテレビ番組。 []
5. 気分がいい。 []
6. ちょうどいいサイズ。 []
7. もういい。 []
8. よくもだましたな。 []
9. 良質なシルク。 []
10. 良心的な店。 []

練習 ②

1 [] に言葉を入れ、意味を確認して下さい。

1. 富士山が [] 見えます。
2. 風邪、早く [] なるといいですね。
3. この薬、乗り物酔いに [] よ。
4. あの二人、仲が [] ね。
5. ささいなことで彼女と喧嘩して、気分が [] ない。
6. 結婚するなら、人柄が [] 人にしなくちゃ。
7. あの会社は給料が [] らしい。
8. A : 1000倍の倍率の抽選に当ったんだ。
B : それは [] ね。うらやましいな。
9. ねえ、ねえ、[] 人できたんでしょう？ 付き合っているの？
10. 母：もっと食べる？
子：ううん、もう []。おなかいっぱい。
11. あの人は会長に選ばれて [] 気になっている。
12. この研究、[] 線行っているんじゃない？
- 13.隣の人はいつも夜遅くまで大きい音で音楽を聞いている。[]迷惑だ。
14. あんなに親切にしてあげたのに、[] も裏切ったな。
15. また、お金を借りに来たけど、そうそう [] 顔ばかりもしていられない。
16. (温泉に入って)「ああ、[] 湯だな。」
17. 100円のお菓子を万引きするなんて、[] 大人が情けない。
18. A : 花びん、割っちゃった。
B : よくあることだから、気にしないで [] よ。
19. そんな違法なことをするなんて私の [] 心が許さない。
20. 彼は、高校のころ先生にも親にも反抗し、不 [] と呼ばれていたらしい。